

基幹教育セミナー 第8週目

林 篤裕

(九州大学 基幹教育院
& アドミッションセンター)

e-mail: hayashi@artsci.kyushu-u.ac.jp



0. 本日の進行

- ◆ 今回のリフレクトシート配布、記入(前半)
- ◆ 前回のリフレクトシート返却
- ◆ お題「これからの自分の大学の学び
～大学で学ぶ意義を改めて考える～」
 - ◆ 授業の振り返り
 - ◆ 学ぶ意義・評価基準
 - ◆ 自分の「大学で学ぶ意義」を考える
- ◆ <確認>本番発表とその後の課題
- ◆ リフレクトシート記入(後半)、提出
- ◆ 参考: 第6回の配布資料

「現在の自分の大学の
学び」(先週)

【再掲】

本番発表の目的

- ◆ 発表内容:
 - ◆ 「自分が大学で学ぼう(or 取り組もう)と考えていること」
 - ◆ 自分が進もうとしている専門分野の中身の話だけではなく、「それと自分との関係」を、自分の言葉で語ろう。
- ◆ 目的: 大学生活を有意義なものにしてもらいたい
 - ◆ 一連の作業を通じて、自分自身を振り返ってみる機会にしよう。
 - ◆ 「過去・現在・未来の自分」を考えることによって
- ◆ そのための作業: **以下の2つを必須とする**
 1. 発表: **実際に発表してみよう経験を積む**
 2. 要旨: **文書にまとめる**

大学で何を学ぶべきか？

- ◆ 企業就職に限らず、どんな仕事・活動をするにしても必要とされる能力や態度がある。
 - ✓ 試験や面接等は、その職業にどのような能力が求められているか、というメッセージが込められている！
 - ✓ 単に試験、面接対策をするだけでなく、そのメッセージを読み取ることが大事。
- ◆ 自分の目標について考えたとき、その目標を達成するためにはどんな能力が必要だろうか？
- ◆ 大学生活において、それらの能力の内、何を/どれだけ/どの様にして身につけるか？

今日は、「大学で学ぶ意義」について、自分の立場に引き寄せて考えてもらいたい。

自分自身に引き寄せる

一般的な「大学で学ぶ意義」を踏まえて、
「自分にとっての大学で学ぶ意義」を探っていく。

1. これまでの授業を振り返る。(グループワーク1)
2. 卒業時の自己評価表を作る。(個人ワーク1)
→ 目標をできる限りはっきりとさせる。
3. 自己評価表を披露する。(グループワーク2)
→ 分かりづらい点や改善点を質問・指摘してもらう。
→ よりよい目標が設定できる。
4. 大学で学ぶ自分をイメージする。(個人ワーク2)
→ これからの自分に指針を与える。

グループワーク1: 他人と意見交換をする

- ◆ これまで様々な活動を通じて、大学での学びについて考えた。
- ◆ これまでの授業を振り返りつつ、社会的に見た「大学で学ぶ意義」を自分なりに整理してみよう。
- ◆ 各人、教員によってアプローチが違った。
→ 意見交換で異なる視点、考えが得られるかも。

グループワーク

1. 各人で、「大学で学ぶ意義」についての考えをまとめる。(3分)
2. 5～6人のグループに分かれる。(2分)
3. 自分の考えをグループメンバーに聞いてもらう。(10分)



これまでの授業を振り返る

- ◆ どのような内容だったか？
- ◆ 作業や話し合いの様子は？
- ◆ どのような意見が出ていたか？
- ◆ それについてどう思ったか？
- ◆ 授業を通して、「大学での学ぶ意義」をどう考えるようになったか？



思い出したものを書き出してみよう。

個人ワーク1: 卒業時の自己評価表を作る

大学を卒業するとき、あなたは自分の学びの成果をどうやって評価しますか？

具体的に評価するには、

- ✓ 評価する内容
- ✓ 評価の基準

を与える必要がある。

まずは「評価する項目」を考えてみよう。



評価項目を考える

将来の目標を思い浮かべてみよう。

その目標を達成するために必要な能力等
はどんなものがあるだろうか？

目標達成に必要な能力のうち、

- ✓ 大学で身につけられるものは？
- ✓ 4年間でどの程度身につけられるか？

思い付く限り書き出してみよう。



評価基準を考える

次に、各評価項目を達成できた/できなかったと判断する基準を設定してみよう。

- 「何を、どこまでできるようになれば、自分に合格を与えられるか?」を考えることが重要。
- まずは、合否の判定基準を決めよう。
- さらに一歩進んで4段階評価の基準が書けるとより詳細に評価が可能となる。

- ✓ 評価項目
 - ✓ 評価基準
- をワークシートに記入しましょう。

例: 本番発表前のチェックリスト

発表の準備中に、また一通り完成した時点で、以下を参考にして、自分の用意した発表の形式・内容などをチェックしてみよう。

	準備完了		もう少し練り直そう・練習しよう	
	*素晴らしい!	*いいね!*	*あと一息*	*頑張れ!*
タイトル	発表内容を的確に表現している	発表内容におおむね沿っている	発表内容と異なっている	発表内容とかけ離れている
全体の形式	指定の発表形式、制限時間をきちんと守っている	指定の発表形式、制限時間をきちんと守っていない(分量が多すぎる/少なすぎる)		
誤字・脱字	発表資料に、誤字や脱字が全くない	発表資料に、誤字や脱字がほぼない	発表資料に、誤字や脱字が目立つ	発表資料に誤字や脱字が非常に多い
資料の見やすさ	各スライドに載せる内容が適量/文字の配置・大きさ・色使いが適切で見やすい/画像・アニメーションなどで、目を引く演出が凝らされている(余力があれば)	各スライドに載せる内容が盛り込み過ぎ、スカスカ/文字の配置・大きさ・色使いがゴチャゴチャ過ぎ、淡白過ぎ/演出ばかり凝り過ぎ、全く工夫がない		

例: コミュニケーション力の場合

評価項目	できた!	できなかった
コミュニケーション力	自分の考えを伝えることができる。人の話を聞いて内容を把握できる。	自分の考えをうまく伝えられない。人の話を正しく把握できない。

もう少し踏み込んで評価をしてみる。

評価項目	素晴らしい!!	いいね!	あと一息	頑張れ!
コミュニケーション力	自分の考えを論理的にまとめ、積極的に伝えることができる。人の話を傾聴し、内容を把握した上で質問・意見を述べられる。	自分の考えを伝えることができる。人の話を聞いて内容を把握できる。	自分の考えを伝えることに戸惑うことがある。人の話を把握できなかったり、聞き漏らすことがある。	自分の考えをうまく伝えられない。人の話を集中して聞くことができない。内容を把握できない。

同じ評価項目でも、人によって異なる基準になるかもしれない。
【それ以前に、コミュニケーション力って何? 伝えることだけ?】

グループワーク2: 自己評価表を披露する

- 作成した自己評価表をグループメンバーに説明してみよう。
- 説明する時に、以下の2点が相手に伝わるように心がけましょう。
 - ✓ 卒業後にどんな自分でありたいかという目標
 - ✓ その目標と評価項目の関係
 - ✓ 卒業までに到達したいレベル
- 聞き手は、上記2点を中心に、良かった点や改善点を挙げられるように傾聴しましょう。
- 説明+質問+意見で一人4分間(Max)。(ワークシートに修正・追記しても良い。)



個人ワーク2: 「大学で学ぶ自分」を想像する

自己評価表作成ワークを踏まえて、以下の五点を書き出してみよう。

1. 大学を卒業する時、どんな自分でありたいか?
2. そのために、今日まで何をしてきたか?
3. 明日から何をするか?
4. 今後、さらにできることは何か?
5. 本番発表のタイトル(仮)

【再掲】

本番発表の進行について

- ◆ 本番発表: (クラスによって多少の設定変更もありえるが)
 - ◆ 1週に4名、最終週は2名
 - ◆ 18分: 準備(1)、発表(12)、質疑応答(4)、交代(1)
 - ◆ 提示資料は各自で準備する
 - 道具立ては自由: PowerPoint、Prezi、模造紙、板書、.....
 - 教材提示装置も利用可
- ◆ 聴く側の学生に求められること
 - ◆ 発表後、積極的に質問を出す(傾聴が必要!)
 - ◆ 各発表者に対して「フィードバックシート(●様式3)」を記入し、発表者に渡す(自分も皆から受け取る)。
 - ◆ 他の人の発表も参考にして、自分の発表を磨く。

本番当日配付

【再掲】

いくつかの注意点

- ◆ 別途配布した「本番発表に望む前に(●様式4)」も参考に。
- ◆ 慣れていない人は、口頭発表の元になる原稿を作ることをお奨めする。
 - ◆ ただし、発表で手元の原稿ばかり見て、聴衆を見られないという事態は好ましくない。そのためには事前の練習が非常に大切!!
- ◆ 「出典」を明示する必要性: 著作権
 - ◆ 誰かの文章や画像・グラフなどを引用する場合、その出典を明示する(インターネットのサイトの場合は、URL情報も載せる)。
- ◆ 練習の重要性
 - ◆ スライドと原稿ができただけでは準備はまだ終わりでない。
 - ◆ 鏡の前に立って、時間を測りながら(できれば録音もして)繰り返し練習しよう(特に時間管理は難しいので注意)。

【再掲】

発表要旨: 本番発表後の課題

- ◆ 本番発表後に「発表要旨」を提出してもらおう【●様式5-1】
 - ・ 形式・分量: A4用紙1枚、800~1200字程度
 - ・ テンプレート(雛形)を以下からダウンロードして利用【●様式5-3】
 - ・ <http://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~kseminar/>
 - ・ 「本番発表の内容を文章化した原稿(発表要旨)」として書くこと。
 - ・ 締切: 発表の翌週 (or 先生の指示に従って下さい)
 - ・ 提出方法: 印刷して提出 (or 先生の指示に従って下さい)
- ◆ 提出された要旨は教員が添削。
 - ・ 場合によっては書き直し・再提出を求めることも。
 - ・ 最後に全員の要旨をクラスで共有する予定。
- ◆ 作成時のチェック事項: 【●様式5-2】

第9回~第14回

- ◆ [発表担当者]
 - ◆ 本番発表 & 質問に対して返答
 - ◆ 発表要旨の作成: 翌週までに。紙で提出。
 - ◆ 翌週返却する添削結果を反映させた最終版を電子メールで提出(アドレスは後日指示します)
- ◆ [聴衆担当者]
 - ◆ 質問: 生産的なコメント、受け手に有益なコメントを
 - 1週に1回は質問を!! <=== 今後の自身の活動にもつながる
 - ◆ フィードバックシートの記入・手渡し
- ◆ この講義・教室は「経験を積む場」
 - ◆ 自分の理想の発表に近付けられる試行も歓迎
 - ◆ 有意義な大学生活を目指して

講義終了後全員分をまとめてWebで閲覧可(共有)とする